

《平成27年度 教育委員会事務局 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長	明石 芳夫
理事	宮地 均

重 …平成27年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み」欄に左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p>1 <豊かな心と人間性の育成> いじめの根絶等に向けて、学校、家庭、地域の連携を強化しながら、子どもの自己肯定感を高め、豊かな感性や人間性を育む取組を進めていく必要があります。</p>	<p>① 「草津市いじめ防止基本方針」が策定されたことにより、学校だけでなく、家庭や地域、関係機関との密接な連携のもとそれぞれの役割と責任を自覚していじめの根絶に向けた取組を推進します。</p>	<p>① 【取り組み】 いじめや差別のない明るい学校を築き、児童・生徒が好ましい人間関係のもと安心して学校生活を送るための取組を支援します。 ○草津市いじめ等問題行動対策アドバイザー派遣事業 (事業費 1,411千円) 精神保健関係アドバイザー(社会福祉士)1人 週1日派遣(1日4時間)×28週:合計112時間 560,000円 自立支援関係アドバイザー(青少年健全育成経験者)1人 週5日派遣(1日4時間)×28週:合計560時間 840,000円</p> <p>【成果目標】 必要な学校に計画に基づきアドバイザーを派遣</p>	<p>重</p> <p>① 【取り組み実績】 いじめや差別のない明るい学校を築き、児童・生徒が好ましい人間関係のもと安心して学校生活を送るために、いじめ等問題行動対策アドバイザーを派遣しました。アドバイザーから教員への助言、生徒への指導やカウンセリング等を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 平成26年度の、4月から2月末までの派遣校内での暴力行為は16件、乱暴けんかは11件という状況でありましたが、今年度は、いじめ等問題行動対策アドバイザーを派遣したところ、暴力行為7件、乱暴けんか3件と減少し、成果を上げました。</p>
<p>2 <児童・生徒の体力向上> 本市の児童・生徒の新体力テストの結果は全国平均よりも低く、日常の運動時間も少ない状況です。また、スポーツ中のけがは年々増加している状況です。そこで、子どもが運動に関心を持ち、継続して取り組める施策を展開し、体力の向上など図る必要があります。</p>	<p>② 子どもが運動する機会や環境の充実を図るための効果的な取組を行い、子どもの体力向上につなげます。</p>	<p>② 【取り組み】 子どもが運動に関心を持ち、継続して取り組めるよう、小学校ではダンス運動、中学校ではスポーツドクターによる講習会などを実施し、子どもたちの体力向上に向けた取組を行います。 (事業費) 小学校体力向上プロジェクト事業費 860千円 中学校体力向上プロジェクト事業費 1,575千円</p> <p>【成果目標】 ダンス教室、スポーツドクター講習会の実施</p>	<p>重</p> <p>② 【取り組み実績】 小学校では楽しみながら運動ができるダンス教室、中学校ではスポーツ障害を予防するためのスポーツドクターやトレーナーによる講習会を実施するとともに、立命館大学スポーツ健康科学部や学校関係者による「小・中学校体力向上プロジェクト推進会議」を設置し、子どもたちの体力向上について継続的に取り組みました。</p> <p>【成果目標実績】 ダンス教室の開催 14回 スポーツドクターやトレーナーの講習会の開催 36回</p>
<p>3 <安全・安心でおいしい学校給食の提供> 食育の取り組みの一環である学校給食に対する関心が注がれていることに応えていく必要があります。</p>	<p>③ 安全で安心、かつおいしい学校給食の提供に努めます。</p>	<p>③ 【取り組み】 ・市、栄養士、受託事業者、小学校、配膳員が連携をとりながら、一体となって、安定した学校給食の提供に取り組めます。 ・安全な食材を使い、「手作り」を基本にします。 ・食物アレルギー原因の特定原材料の品目を「1日1品目まで」とし、「減塩献立」や「地産地消」に努めます。 (事業費 560,722千円)</p> <p>【成果目標】 地産地消率 38%</p>	<p>③ 【取り組み実績】 ・職員等が一丸となり、安定した学校給食を提供しました。 ・できるだけ冷凍加工品を使用せず、手作り調理に努めたため、おいしいと言ってもらえる給食を提供しました。 ・特定原材料の品目を1日1品目までとし、アレルギー原因食物の少ない物資を優先したことから、多くの児童に安全、安心な給食を提供しました。 ・関係機関等と協議を重ね、地産地消に取り組みました。 ・給食実施回数 187回</p> <p>【成果目標実績】 地産地消率 42%</p>
<p>4 <草津市独自の魅力ある教育行政の実現> 社会のグローバル化、IT化に伴い、情報活用能力やICTスキルの習得が必須の課題となっています。</p>	<p>④ ・市全体の学校教育のさらなる充実のため、ICT教育の一層の推進を図ります。特に今年度は、市内全中学校へ3人に1台の割合でタブレットPCの導入を進めます。 ・タブレット活用推進リーダー研修を実施し、各校の推進リーダーの育成を行います。</p>	<p>④ 【取り組み】 学校ICT支援員を増員するとともに、市内の中学校へタブレットPC(約1,000台)を整備します。 昨年度に引き続き、タブレット活用推進リーダー研修会を実施し、これまで受講していない教員を対象に研修を行うことで、各学校での活用推進を進めます。 (事業費) ・学校ICT支援員派遣委託料 40,680千円 (※平成26年度予算明許繰越) ・中学校タブレットPC導入費 19,696千円 ・教材共有システム導入費 1,275千円</p> <p>【成果目標】 ・中学校に配置するタブレットPCを授業で活用します。 ・タブレット活用推進リーダー研修を実施します。</p>	<p>重</p> <p>④ 【取り組み実績】 ・平成27年8月に市内中学校へ約1,000台のタブレットPCの配備とPCルームの更新作業を行いました。 ・タブレット活用推進リーダー研修会を7回実施しました。さらに、中学校ではタブレットPCが新規に導入されたことに伴い、機器操作の研修や授業支援ソフトの研修を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・中学校へタブレットPCを導入したことにより、国の目標を上回る、1台あたり2.3人となるPCを整備しました。 ・平成27年度の2学期から中学校でタブレットPCを活用した授業を開始しました。2学期、3学期にタブレットPCを活用した授業の回数は全中学校合計で2,286回でした。</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p>5 <学校教育の質の向上> ・各学校が「強み」を生かした特色ある学校づくりを進めていくことが求められています。 ・学校だけでなく、外部の専門家や達人の生きざまに触れ、視野を広げていく機会を設けることが求められています。</p>	<p>5 ・新しい時代の要請に応じた教育や地域の特性に応じた教育を推進するため、「学校教育パイオニアスクールくさつ推進事業」として各学校が新たな教育活動を企画・実践・発信し、学校教育の質の向上を目指します。 ・市内小中学校において、社会の最前線で活躍する専門家や達人を招聘してのスペシャル授業を実施します。</p>	<p>5 【取り組み】 各校、新たに2年間かけて取り組む新しい教育プロジェクトを立ち上げ「学校教育パイオニアスクールくさつ推進事業」として実施します。また、本事業の中で、各校が専門家や達人を招聘してのスペシャル授業を企画・実施する取り組みを推進します。(事業費 2,141千円) このほか、著名な講師を教育委員会主体で招聘し、スペシャル授業を実施します。(事業費 660千円)</p> <p>【成果目標】 ・各校が新しい教育プロジェクトを立ち上げ、実践します。 ・教育委員会が著名な講師を4名以上招聘し、スペシャル授業を実施します。</p>	<p>5 【取り組み実績】 ・市内全小中学校において、地域の特性や、独自の教育課程を活かした教育プロジェクトを策定し、地域人材や外部講師を招聘し、年間を通して継続的に教育プロジェクトを実施しました。 ・教育委員会が5名の講師を招聘し、各校からの希望に応じて派遣し、「夢・未来を抱くスペシャル授業in草津」として実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・全小中学校において、教育プロジェクトの内容に応じた地域人材の活用や講師の招聘が年間を通して行われました。また積極的に記者資料を提供し、発信を行いました。(教育プロジェクトにおける講師の招聘 のべ103名 記者資料の提供72回) ・教育委員会が5名の講師(中島貞夫氏、坪田信貴氏、朝原宣治氏、田中浩二氏、夏井いつき氏)を招聘し、8校において「夢・未来を抱くスペシャル授業in草津」を実施しました。</p>
<p>6 <子どもの読書活動の推進> ・近年、子どもの本離れが顕著になり、読書習慣の確立が課題となっています。この課題解決に向け、市民全体で草津の子どもを育てようという機運の醸成を目指す中で、生きる力の基礎となる「本に親しみ、読書をする子」の育成を進めていく必要があります。 ・小学校図書館と市立図書館との連携事業として、巡回図書「ブックン」は全小学校を巡回することができましたが、より効果的な活用を図るため、学校ニーズの収集と対応が必要です。</p>	<p>6 ・市立図書館と小中学校や高校との連携をより深め、さらなる子ども読書推進事業を実施し、読書環境を整備することで、「本を読む子」を育てます。 ・学校司書や図書館運営サポーターの活用を通じて、読書活動支援を行い、魅力ある読書環境を整備します。</p>	<p>6 【取り組み】 学校図書館ボランティアのスキルアップを目的とした交流会を実施します。 子どもたちを含めた利用者に、効率的な情報検索方法や館内施設利用の案内を行う「図書館探検隊(利用案内講座)」を実施します。</p> <p>【成果目標】 ・交流会実施 年3回 ・利用案内講座 年2回</p>	<p>6 【取り組み実績】 学校図書館ボランティア交流会については、学校図書館長や大学教授によるボランティア活動の講演や実習、情報交換などを実施したことで、各学校の活動状況の把握と活動推進の参考となり、参加ボランティアの全体的なスキルアップを図りました。 また、図書館利用案内講座を実施したことで、参加者に適切な施設の利用方法や効率的な資料検索方法を周知しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・交流会実施回数 3回 (6/25、10/19、3/4) ・利用案内講座実施回数 2回 (7/19、11/28)</p>
<p>7 <英語教育の推進> 平成32年度に予定されている新学習指導要領の全面实施により、小学3、4年生で外国語活動が、小学5、6年生で教科としての英語学習が予定されています。</p>	<p>7 「草津市英語教育推進計画」を策定し、本市における小中学校の英語教育を拡充・強化します。</p>	<p>7 【取り組み】 草津市英語教育推進事業実施要項に基づき、草津市英語教育推進委員会を発足します。そして、本委員会が中心となって、「草津市英語教育推進計画」を策定します。(事業費 300千円)</p> <p>【成果目標】 「草津市英語教育推進計画」の策定</p>	<p>7 【取り組み実績】 草津市英語教育推進事業実施要項に基づき、草津市英語教育推進委員会を発足しました。平成27年4月以降5回の会議を開催し「草津市英語教育推進計画」の策定に向け協議を重ねました。</p> <p>【成果目標実績】 平成28年3月に「草津市英語教育推進計画」を策定しました。</p>
<p>8 <教育施設の整備> ・小中学校施設は年数経過に伴い照明、給排水等の付帯設備や内装、外壁が老朽化しています。このことから、大規模改修事業の実施時期については、建物の状況を踏まえながら計画的に改修していく必要があります。また、プールやグラウンド等の屋外施設や受電設備等の付帯設備についても、開校以来、未改修の学校が多く、今後ますます改修の必要性が増すと見込まれます。 ・学校施設の構造体に係る耐震化については既に完了しましたが、構造体以外の天井や窓、備品等いわゆる非構造部材の耐震対策が今後必要となります。 ・志津南小学校区については、宅地開発が進んでおり、今後も生徒数の増加が見込まれますことから、校舎の増築を行い、教育環境の充実を図る必要があります。 ・本市は、近年、人口流入等による児童・生徒数の増加(特に南草津駅周辺地区)が続いており、中期的には小・中学校での教室不足等、教育等環境の再整備を進める時期にあります。 ・長期的には少子化となる傾向は本市も例外ではないことと併せ、今後教育施設の各種公共財としての役割も増すことが想定されますことから、これまでの画一的な整備手法を見直す必要があります。</p>	<p>8 ・学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を図るため、老朽化が進む小中学校施設の改修とバリアフリー対応の工事・設計を行います。 ・小中学校の非構造部材の耐震対策を推進し、学校施設の安全性の確保と教育環境の改善を行います。 ・志津南小学校において、不足教室が生じないように校舎の増築を行い、教育環境の充実を図ります。</p>	<p>8 【取り組み】 建築後相当年数経過した校舎等学校施設の改修を計画的に実施するとともに、多目的トイレやエレベータ設置等、バリアフリー対応の工事・設計を行います。 (事業費) 126,767千円 ・草津中学校エレベータ棟増築工事 (107,380千円) ・老上小学校トイレ改修工事実施設計業務 (1,897千円) ・松原中学校大規模改修工事実施設計業務 (7,305千円) ・老上中学校大規模改修工事実施設計業務 (10,185千円)</p> <p>小中学校の非構造部材の耐震対策を推進するため、非構造部材改修工事を行います。 (事業費) 587,812千円 ・全小学校(13校)体育館の非構造部材改修工事 (245,912千円) ・全中学校(6校)体育館・武道場の非構造部材改修工事 (307,451千円) ・草津小学校校舎の非構造部材改修工事 (16,675千円) ・渋川・玉川小学校校舎の非構造部材点検調査および実施設計 (11,621千円) ・草津中学校校舎の非構造部材点検調査および実施設計 (6,153千円)</p> <p>・志津南小学校校舎棟増築工事 [増築教室数 6教室(2階建)] (事業費 215,629千円)</p> <p>【成果目標】 各工事、点検調査および実施設計の完了</p>	<p>8 【取り組み実績】 建築後相当年数経過した校舎等学校施設の改修を計画的に実施するとともに、多目的トイレやエレベータ設置等、バリアフリー対応の工事・設計を行いました。また、小中学校の非構造部材の耐震対策を推進するため、非構造部材改修工事を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 次の工事および業務を完了しました。 ・草津中学校エレベータ棟増築工事 ・全小学校体育館の非構造部材改修工事 ・全中学校体育館・武道場の非構造部材改修工事 ・草津小学校校舎棟非構造部材改修工事 ・渋川・玉川小学校、草津中学校非構造部材点検・調査・実施設計業務 ・志津南小学校校舎棟増築工事</p> <p>なお、例年よりも国庫交付金の内定が遅く、予定していた工事の着工が遅れ、老上小学校トイレ改修工事実施設計業務、松原・老上中学校大規模改修工事実施設計業務については平成28年度に延期しました。</p>
	<p>9 ・児童が安全で安心して教育を受けられる環境を整えるため、平成28年4月開校に向け、(仮称)老上第二小学校の開校準備に取り組みます。 ・教育施設は、地域における防災や地域活動の拠点として等の役割も併せ持つ重要な公共施設でありますことから、その整備にあたっては総合的な計画行政の観点から進めます。</p>	<p>9 【取り組み】 (仮称)老上第二小学校敷地建設工事を完了し、開校準備を整えます。 (事業費 3,173,776千円 (平成27年度分))</p> <p>【成果目標】 (仮称)老上第二小学校の整備進捗率(事業費ベース) H26末:31.5% →H27末:100%</p>	<p>9 【取り組み実績】 老上西小学校の建設を完了しました。</p> <p>【成果目標実績】 整備進捗率 100%</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成27年度の具体的な取り組み 【年度末実績】
<p>9 <総合教育会議の設置と教育に関する大綱の策定> 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、平成27年4月1日に施行されたことに伴い、首長が主催する「総合教育会議」を設置し、教育に関する大綱を策定する必要があります。</p>	<p>10 総合教育会議において、本市の教育の方向性・重点的に講ずるべき施策などに関し、市長と教育長、教育委員が十分な協議・調整を行い、本市の教育政策の方向性を共有します。</p>	<p>10 【取り組み】 総合教育会議を開催し、市長と教育委員会が協議・調整のうえ、教育に関する大綱を策定します。 スケジュールおよび会議内容(予定) 第1回 27年4月27日 〔会議の運営・大綱の策定方針・今後のICT教育について〕 第2回 27年6月上旬 〔生涯学習関連・地域協働校関連のテーマを選定〕 第3回 27年10月 〔学校経営の充実・教育環境の充実等のテーマを選定〕 第4回 28年1月 〔平成28年度の教育重点施策からテーマを選定〕</p> <p>【成果指標】 教育に関する大綱の策定</p>	<p>10 【取り組み実績】 年4回の総合教育会議を開催し、「草津市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定するとともに、本市の教育施策に関する成果と課題を共有し、今後の方向性について議論を行いました。 第1回 27年4月27日 〔総合教育会議運営要項(案)について・草津市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱策定方針(案)について・学校ICT推進事業について〕 第2回 27年6月5日 〔草津市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱(案)について・地域協働校の取組とその広がり〕 第3回 27年10月2日 〔平成27年度 草津の子どもの学力と教育施策〕 第4回 28年2月25日 〔子どもの読書環境の推進について〕</p> <p>【成果目標実績】 「草津市の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱」を策定しました。〔第2回総合教育会議(平成27年6月5日開催)において調整〕</p>
<p>10 <スポーツ振興計画(第2期)の策定> ・平成23年4月に策定した草津市スポーツ振興計画につきまして、平成23年度から平成32年度までの10年間に達成すべき目標を掲げており、この計画に基づき、これまでさまざまなスポーツ推進にかかる取組を行ってきました。平成27年度は、この計画の前期5か年が終了することから、後期5か年に取り組むべきスポーツ推進の方向性や施策などを定める必要があります。</p>	<p>11 これまでの取組や課題を検証するとともに、市民意識調査等によりスポーツに対する市民の意向を把握し、社会情勢等の変化による新たな課題に対応するため、草津市スポーツ振興計画を見直します。</p>	<p>11 【取り組み】 学識者や公募市民、関係団体等による草津市スポーツ推進審議会を開催し、その中で現行計画の成果や課題の検証を行ったうえで、草津市スポーツ振興計画(第2期)を策定します。 (事業費)スポーツ振興計画策定支援業務 4,000千円 スポーツ推進審議会運営費 302千円</p> <p>【成果目標】 草津市スポーツ振興計画(第2期)の策定</p>	<p>重 11 【取り組み実績】 草津市スポーツ推進審議会を5回開催し、現行計画の成果や課題を検証のうえ、今後5年間で取り組むべき施策を明らかにした「草津市スポーツ推進計画(草津市スポーツ振興計画第2期)」を策定しました。</p> <p>【成果目標実績】 平成28年3月に「草津市スポーツ推進計画」を策定しました。</p>
<p>11 <文化財の調査・保存・活用> ・市域の各種開発に対応して埋蔵文化財の発掘調査を進めるため、調査体制の整備とともに保管・整理施設の再整備が必要です。 ・地域に根差した歴史遺産はまちの歴史文化、伝統を理解し、市民文化を新たに創造していくために不可欠でありますことから、各種文化財の調査結果、保管資料を公開し、市民の愛護意識を醸成し、文化財を生かしたまちづくりの推進のため、積極的な保全継承を図る必要があります。 ・史跡草津宿本陣および草津宿街道交流館では、江戸時代の宿場町草津の歴史的特性について市内外に発信し、さまざまな事業を展開することで、両施設への入館者数を維持しています。しかし、同じ事業の継続では話題性も薄れ、リピーターにもつながらないことから、新たな視点、新たな層への発信が必要であり、今まで以上に魅力ある事業を創出するとともに、学校団体や地域団体による利用を促す必要があります。</p>	<p>12 ・埋蔵文化財発掘体制につきましては、大規模開発等による発掘調査に対応するため、県の協力を求める等調査体制を強化します。 ・調査、収集資料の公開のためには調査成果の整理が不可欠であることから、整理、保管可能な埋蔵文化財調査センターの機能とともに、所蔵する歴史資料ならびに出土遺物等の適切な保存管理および公開のための専門施設建設に向けて、各種の行事を通じて機運を高めます。 ・国指定史跡の保存整備については、草津宿本陣保存整備事業を継続し、適切な保存管理を実施するとともに、瀬田丘陵生産遺跡群野路小野山製鉄遺跡公有地の適正な管理を実施します。 ・草津市の貴重な歴史遺産を保存継承していくために、市内各種指定文化財の管理・伝承事業に対して助成措置を継続します。</p> <p>13 草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣での事業をより魅力的なものにし、学校や関連施設・機関との連携を図るとともに、発信力の強化に努めます。</p>	<p>12 【取り組み】 消失する遺跡の緊急的な措置として記録保存を図るための埋蔵文化財現地調査を実施します。 歴史的建造物の調査を実施します。 (事業費)文化財調査費 7,059千円 開発関連遺跡調査費 86,555千円</p> <p>【成果目標】 調査を着実に進めます。</p> <p>13 【取り組み】 文化財調査の調査成果等を市民へ還元するために、暫定事業ではありますが「草津市歴史資料コレクション展9」、「草津の古代を掘る2015」などの公開事業を実施するとともに、適正な所蔵資料の保管管理に努めます。 (事業費) 歴史伝統館整備費 1,027千円 文化財普及啓発費 278千円</p> <p>【成果目標】 各種行事参加者見込 1,100人</p> <p>14 【取り組み】 草津宿街道交流館や史跡草津宿本陣での展示および定期事業の充実を図るとともに、学校団体への学習プログラムを構築し、市域内外への積極的な発信を通じて、来館者の確保に努めます。</p> <p>【成果目標】 平成27年度における史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の両館入館者数を、第5次総合計画第2期目標値である30,900人を目指します。</p>	<p>12 【取り組み実績】 文化財調査事業では発掘調査6件(233㎡)、試掘調査42件、開発関連遺跡調査事業では発掘調査8件(9,074㎡)の調査を実施しました。あわせて、歴史建造物調査を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 依頼のあった発掘調査をすべて着実に完了しました。また歴史的建造物については4件の調査を実施し、実態を把握しました。</p> <p>13 【取り組み実績】 「草津歴史資料コレクション展9」を11/14～12/6の間で街道交流館で開催し、12/5には「草津の古代を掘る2015」を開催しました。</p> <p>【成果目標実績】 2つの行事に1,182人の参加者がありました。</p> <p>14 【取り組み実績】 草津宿街道交流館では、東海道や中山道沿道の自治体と連携した宿場町人気投票などの事業を通じ、広く草津宿の魅力発信に努めることができました。また、学校との連携を図るため、小学生向けの学習プログラムを作り、3学期には市内6小学校の利用がありました。</p> <p>【成果目標実績】 史跡草津宿本陣と草津宿街道交流館の両館入館者数は、第5次総合計画第2期数値目標である30,900人を超え、33,348人となりました。</p>

